

平成 26 年度静岡大成高等学校 学校評価書

評価対象	評価項目	具体的取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
			評価点	学校としての反省と改善策	評価点	意見
①基本的な生活習慣と基本的規範意識の確立図り、社会人として通用する生徒を育てる。 (衣を正し・時を守り・場を清め・礼を尽くす)	社会や家庭、学校のルールやマナーを身に付けさせる。	お互いが安全で心地よく生活していくルールについて、生徒・家庭・教員それぞれが真摯に向き合い、信頼関係を築きながら共通理解を確立する。また、自らも社会や職場のルールを守る。	A	価値観が多様化している現在、生徒や保護者のルールに対する考え方には温度差があり、徹底は困難である。根気強く対応することがこれからも必要である。自分たちも職場のルールに対し、より一層守っていかなければならない。	A	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣や規範意識については、いろいろな学校から様々な生徒が集まってくるため、なかなか指導は難しいと思うが、それでも自己評価率は前期に比べて後期はよくなっている。地道に繰り返し、諦めることのない指導をお願いしたい。 外部の人に気持ちの良い挨拶ができれば、ロコミとなって本校の評判にもなる。今後も指導をよろしく願いたい。なお、本校の生徒は教員が見ていないところでも挨拶がきちんと出していると聞いている。嬉しい限りである。 校内美化や朝読書の取り組みへの努力が伺えるが、さらなる工夫をお願いしたい。
	挨拶がしっかりできるようにする。	礼法の授業の中で「礼の心」を習得し、部活動や日常生活の中で実践していく。挨拶の励行については教師が率先垂範し、生徒の実践に繋げる。	A	あいさつの励行は定着している。今後は、訪問者等へのあいさつも自然にできるようさらに働きかけていきたい。	A	
	服装や頭髪を正しく整えさせる。	高校生としての正しい服装容儀についての認識を持たせ、日常的に目を配り指導をする	A	全体的には落ち着いた服装容儀であり、指導の効果は出ているが、自ら気を配る姿勢をさらに育てることが必要である。	A	
	身の回りの整理・整頓、校内美化に自主的に取り組ませる。	身の回りの整理・整頓が学習への集中力に繋がることを理解させる。掃除や校内美化については自主的に行動することで感謝や奉仕の心を育てる。	B	校内は、おおむねきれいに保たれているが、ガムの吐き捨て等一部生徒の心無い行動も見られる。生徒が自主的に美化に取り組む姿勢を育てることが大切である。	B	
	時間厳守の習慣化に努める。	常に 5 分前行動の励行を呼びかけていく。集団行動・集団生活の中で時間を守ることが大切であることを認識させる	B	朝読書に、一部の生徒が遅刻する状況が改善されなかった。自ら進んで読書に向かう姿勢を育てたい。	B	
②授業を大切に、授業力の向上を図り、確かな基礎学力を持つ生徒を育てる。	学ぶ楽しさが実感できる授業を心掛け、チャイムと同時に授業を開始する	一人一人のやる気を引き出す工夫をし、学力を伸ばす授業づくりについて研究する。チャイムが鳴る前に教室に入り、授業の体制を作る。	B	高校 3 年の進学選抜クラスでは、例年以上の結果が出ている。中間層のレベルアップが課題である。授業開始時間を守ることを徹底する。	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観をしたが、時間の使い方、板書の仕方、音読のさせ方等まだまだ工夫できる点があると思われる。教科会等を有効活用し、先生方では是非検討してみてください。 総合選択制を採る本校でも、今後、単位の取得数と進級、卒業との関係について検討する必要があるのではないかと。 研究授業や授業参観については、目標を達成できたこととその努力に頭が下がるが、電子教材の導入については今一つということである。新しい教育指導方法には難しい面もあるが、是非、学校全体でしっかりと取り組んでいただきたい。 生徒の授業評価を真摯に受け止める教師が多いというのは評価できる。ただし、授業評価をどの程度先生間で共有できるか今後検討してみてください。 生徒には S C が対応しているが、最近、教員の間でのうつ病等の対策も身近な課題となっている。幸い本校には今のところ大丈夫ということであるが、こちらも検討してみたいかどうか。
	課題の提出、ノートの点検、確認テストなど、学習内容の基礎の定着と勉強方法の確立を図る。	日常的に課題を出し、ノートの点検を行うなど、家庭学習の習慣化を図る。基礎力診断テストを分析し、的確な学習指導を行う。	A	ノート点検や小テスト等できめ細かく指導している。基礎学力の向上には一定の結果が出ていることから、手を緩めることなくさらにきめ細かな指導をしていく必要がある。	A	
	教材研究や授業公開に積極的に取り組み、「授業力」の向上に努める。	授業公開、教科ごとの研究授業に積極的に取り組み、常に教科の専門的な知識の習得に心掛ける。電子教材を用いた授業を研究し、実施して授業の幅を広げる。	B	各教科で、年間 2 回の研究授業を実施し、授業参観を各自 2 回以上行い、自分の授業改善に努めた。電子教材を使用する教科に限られていることから、拡大のための新たな方策を考える必要がある。	B	
	シラバスの充実に努め、授業内容や評価方法を常に検証し改善を図る。	教科会で指導内容・指導方法・成績評価について日常的に話し合い、教科としての最善策を探る。	B	成績評価の検討を行ったが、結論が出ず継続審議となった。来年度には結論を出し改善を図る。	B	
	生徒による授業評価を真摯に受け止め、授業の改善に努める。	評価から自分の授業を振り返り、課題を確認して改善のために努力する。	B	評価結果を厳しく受け止めている教師が多く、さらなる改善を図っていく必要がある。	B	
	本校独自の取り組みである朝読書や、マナトレ及び 2P ノートについて、生徒への指導体制を確立し学力向上に努める。	一貫した指導体制を継続し、生徒が自主的に学習に取り組む雰囲気づくりや支援に積極的に取り組む。	B	担任は 2P ノートを毎日点検し、生徒の家庭学習への取り組みも少しずつ良くなってきているが、家庭学習時間は、まだ不十分である。根気強い指導が今後も必要である。	B	
	教務内規の徹底と、個に応じた指導を心掛ける。	一人一人の学習状況をクラス担任と教科担任が常に情報を共有し合い、教務内規を念頭に置き指導にあたる。	A	担任と教科担当者との意思疎通をさらに綿密に図っていくことがこれから必要である。	A	

評価の基準 A 達成できた B おおむね達成できた C あまり達成できなかった D ほとんど達成できなかった

	評価項目	具体的取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
			評価点	学校としての反省と改善策	評価点	意見
③進路意識の高揚を図り、進路目標の実現にきめ細かな指導を図る。	第1学年は自己理解とともに将来を見通し進路意識の高揚を図る。	三年間の進路指導の流れを理解・熟知し、生徒の個性や適性を生かした進路指導を考える。クラス全体への指導と共に個々の生徒の個性や適性を考慮した指導にも気を配り、学習指導やマナー指導等に計画的に取り組む。生徒・保護者との信頼を深めるために、コミュニケーションを十分図るように心がける。指導における問題点は学年で出し合い、進路部と連携して問題に当たる。	A	学年、分掌では、3年間を見据えた指導を実施しているが、それが一つの成果として表れるかどうかは、生徒一人一人の努力によるところが大きい。それをサポートするのが教師の役目であるので、常に頭に入れて指導しなければならない。3年生の進路結果からは一定の成果が見られる。しかし、場面によっては、生徒・保護者との信頼関係やコミュニケーションの、図り方に課題があるように思われる。	A	<ul style="list-style-type: none"> 本校は、大学、専門学校、就職を希望する者がほぼ拮抗している。進学選抜クラスを除いて、見据える目標が大きく3つに分かれる生徒が1つの教室に混在していることから教師は大変と思うが、生徒の身になって生徒と歩むことが私学の所以でもあるので、是非、創意工夫していただきたい。 進路決定や目標の動機づけのためにも、様々な分野の人から話を聞く場を積極的に設定していてもいいのではないかと。 進学、就職両面にわたって、全教員が補習や面接に協力して実施されており、たいへんであるが、今後ともご努力をお願いします。
	進路に関する情報や知識の習得に常に気を配り、適切な進路指導を行う。	進路部や様々なメディアから積極的に情報を収集し、時代に即した進路指導の研究に心掛ける。 オープンキャンパス、企業訪問への参加、及び情報の収集等に進んで取り組む姿勢を育てる。	B	あふれる情報を整理し利用することは非常に困難なことではあるが、常に行っていく必要がある。	B	
	進路の実現に向けて最大限のバックアップができる体制を作る	一年次から進路意識を持たせる指導を継続して行う。進学・就職補習、小論文・面接指導、及び三者面談を実施し、生徒の進路の決定に繋げる。	A	1年次から、補習、小論文、面接指導には、相応の時間を費やし、3年生の進路結果に表れている。	A	
		各種検定（英検・漢検・数検など）の受験者を増やす指導を行う。	B	係の教科が年間スケジュールを作成し、受験を奨励している。	B	
④部活動・生徒会活動・学校行事の充実と積極的参加を促す。	部活動の活性化に努め、学校生活に潤いと活力を与える。	部活動を通して、体力・技術及び精神力を向上させ、挨拶や言葉遣い、また礼儀作法を身に付けさせる指導を行う。	B	各部活動で取り組んでいるが、まだ、あいさつ、礼儀作法等物足りなさを感じる。	B	<ul style="list-style-type: none"> 本年度英語部が創設された。顧問や場所の確保等難しい問題もあると思われるが、創意工夫して生徒の希望をできるだけ組んでいけるようお願いする。
	豊かな学校生活を目指し、クラスや学年の団結力を強め、一体感を図る。	行事の意義を理解させ、主体的に行事へ参加するよう働きかける。また、クラスや学年の一員として、自分の役割を果たすよう指導する。	B	行事は滞りなく行われているが、生徒一人ひとりの取り組みには温度差もある。クラス全員が一丸となって取り組む雰囲気を作ることが課題である。	B	
⑤信頼される学校づくりをめざし、教育の特色化・魅力化を推進し、広報活動を利用して積極的に外部に発信する。	大成高生の活躍する姿を発信し、常に新鮮な情報を外部に提供する。	ホームページを定期的に更新するための情報づくりに、それぞれの立場で新鮮な話題を積極的に提供する	C	本年度、広報課を設立し、ホームページの改善によりやく着手した。来年度は本格的なリニューアルを実行する。	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流で本校の美術部が新聞に掲載されているのを見た。本年度から地域交流係を設けてより積極的に地域交流すると聞く。是非よろしく願います。 広報課を設立し、HPの改善に取り組んでいるとのことであるが、HPは学校の顔であり、創意工夫されるとともに、時宜に合わせたタイムリーなHP運営を望む。 学校訪問は特定の者が行った方が良いが、広報作業にはできるだけ多くの者が参加し、自校のPRに参加していくことが望まれる。
	行事や部活動を活用し、地域交流・学校交流を推進する。	P T A行事や同窓会などには積極的に参加し、生徒の具体的な情報や活躍する姿を発信する。	B	P T A 行事には昨年度より多くの参加が見られたが、さらに進めていきたい。地域との交流は、一部の部活などに限られている。来年度は総務課に地域交流係を設置し取り組む。	B	
⑥安全・健康・環境・道徳、それぞれの教育を通して「命の大切さ」を育てる。	人権・道徳・安心安全教育を推進する。	在り方・生き方教育や自他の命を大切にする心、物を大切にする心をあらゆる場面を通して指導する。	A	自分の生き方を考えさせる教育を、さまざまな場面で行っていくことが大切である。	A	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談便りは保護者からの反応も多いということなので、是非、継続してってください。 「命や物を大切にする心」は生きていくうえでの基本的な心構えであり、是非よろしく指導をお願いします。
	心身の健康の保持増進のための教育を推進する。	朝食指導や心の健康指導に積極的に取り組み、必要ならば教育相談室の利用を促す。	B	今年度、教育相談便りが生徒・保護者宛に発行され、心の教育に取り組んだ。教職員研修会でも、教育相談をテーマにし、いじめの問題を研修した。	B	

評価の基準 A 達成できた B おおむね達成できた C あまり達成できなかった D ほとんど達成できなかった